

# 令和4年度 学校マネジメントシート

学校名（三重県立明野高等学校）

## 1 目指す姿

(1) 目指す学校像	○専門高校としての強みを活かし、専門的知識・技能の習得に取り組むとともに、農業、衣・食、福祉の分野で地域のさまざまな主体との連携を図り、地域に貢献する学校。
	育みたい 児童生徒像
	○社会人としてのマナーを身につけるとともに、生きる力を育むことのできる生徒。 ○自分の在り方生き方を考え主体的に行動し、自己実現を図っていくことができる生徒。 ○基礎学力の向上および資格取得に主体的に取り組むことのできる生徒。 ○習得した専門知識や技能を生かし、自立した社会人として地域に貢献し、地域を支え、地域とともに生きていくことができる生徒。
(2)	ありたい 教職員像
	○目指す学校像や育みたい生徒像の実現に向け、常に課題発見、課題解決に取り組み、自らも改善、向上を図る教職員。 ○生徒の実態に応じ、学習内容の確実な定着を図るための指導を適宜取り入れるなど、指導内容や指導方法の改善を図ることができる教職員。 ○生徒と真摯に向き合い、生徒の自己肯定感、自己有用感を育む教職員。 ○生徒に寄り添い、安心して安全な学校生活の実現に取り組む教職員。 ○教育活動全体を通じて、個々の生徒の特性を的確に把握し、その伸長に努める教職員。 ○生徒、保護者および地域の信頼に応えることのできる教職員。

## 2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>〈生徒〉 生徒意識調査の結果から過去3年間で初めて学校評価の平均が8.0Pを超えるなど学校生活には概ね満足している。</p> <p>〈保護者〉 保護者アンケートの結果では「明野高校に入学させて良かった」「生き生きと学校生活を送っている」という回答がともに90%を超えており、概ね満足いただいている。</p> <p>〈地域〉 日頃からのあいさつの励行、さまざまな教育活動の情報発信により好意的な印象をお持ちである。今後もさらに地域貢献に寄与してほしい。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p style="text-align: center;"><b>連携する相手からの要望・期待</b></p> <p>〈家庭〉 生徒や学校の日常をこまめに知らせしてほしい。</p> <p>〈中学校〉 教育活動全般や卒業生の近況報告、入試情報等の情報共有。</p> <p>〈地域社会〉 専門高校の強みを活かした地域貢献、地域の活性化につながる取組の展開。</p>	<p style="text-align: center;"><b>連携する相手への要望・期待</b></p> <p>〈家庭〉 基本的な生活習慣確立に向けたサポート。本校教育活動や生徒の自立に向けた指導への理解と協力。</p> <p>〈中学校〉 継続して効果的な指導に取り組めるよう、情報共有を密にしたい。</p> <p>〈地域社会〉 キャリア教育を充実させるために生徒が活躍できる場の提供およびさまざまな取組での連携強化。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>明野高校は地域の企業等との連携・取組が豊富で、生徒にとってこの時期に社会との関りが持てることは非常に有意義な時間になっていると考えている。そのような経験が生徒の人生観や今後のキャリアを考えていくうえでも非常に刺激的であり、示唆に富んだものとなっている。</p> <p>さまざまな生徒の活動を報道関係で取り上げていただくことで、活動のモチベーションに大きく影響していると思われる。また、明野高校の活動を広く県民のみなさんにアピールする機会ともなっており、今後もこのような取組を充実させていくべきである。</p>	

(4) 現状と課題	教育活動	<p>生徒意識調査の回答において、多くの生徒が授業には真面目に取り組んでいると自己評価しているにもかかわらず、授業は理解できているという評価が低い。この状況を教員側が真摯に受け止め、授業改善に取り組む必要がある。</p> <p>保護者アンケートにおいて生徒の進路について丁寧に指導してくれるという質問に対して保護者の満足度が低い傾向が見られることから、キャリア教育の推進に取り組むとともに、保護者や生徒との情報共有を密に図り、希望が実現される進路指導に取り組む必要がある。</p>
	学校運営等	<p>教職員間の連携が十分でない面があり、必要などころにサポート機能が果たされていない状況があることから困り感のある教員に対する支援体制の構築が必要である。</p> <p>学校の規模が小さくなってしまい、現在の教職員組織の体制では十分機能させることがむずかしい状況にあることから業務の見直しや組織体制の見直し等取り組んでいく必要がある。</p>

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>一人一台端末を効果的に活用し、生徒がよりわかりやすい授業を実践するとともに、主体的に探究活動に取り組む能力の育成に努める。</p> <p>主権者教育、消費者教育を推進するとともに、生徒同士が協働する活動を促進し、豊かな社会性・人間性を身につけさせる。</p>
学校運営等	<p>「変化の激しい時代」、「予測困難な時代」を豊かに生きるために必要な力を育み、持続可能な社会の創り手を育成するため、我々教職員集団も互いに協力し合うとともに、協働的な活動に取り組んだり経験・職種に応じた研修を受講したりして豊かな社会性や人間性を身につける。</p>

### 4 本年度の行動計画と評価

#### (1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	<p>(1) 教職員の指導力向上および授業改善に取り組み、生徒の授業理解度の向上を図るとともに、進路実現に向けた基礎学力向上と資格取得に取り組む。</p> <p>(2) 生徒による授業評価を実施する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒による授業評価を年間2回(1学期、3学期)実施する。</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒意識調査で「授業は理解できている」6.3P以上</li> <li>基礎力診断テスト(業者テスト)の指標『C3以上』1、2年生平均65%以上、『D3以下』1、2年生平均7%以下</li> <li>福祉科介護福祉コース介護福祉士国家試験受験者全員合格</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	◎
キャリア教育の充実	<p>(1) 1年生に対して、進路ガイダンス等を実施して、自分の希望を実現させる進路選択ができるようコース選択、科目選択を指導する。</p> <p>(2) 2年生に対して、進路ガイダンス、外部講師を招いてのキャリアアプラン、インターンシップ等を通して生徒自身が進路を決定できるよう取り組む。</p>		◎

	<p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路ガイダンスの実施年間2回以上</li> <li>・キャリアプラン(外部講師による講義)実施年間 10 回以上</li> <li>・インターンシップの実施(2 年生で 1 回)</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>生徒および保護者の進路満足度それぞれの調査で 8. 5P 以上</p>		※
<p>安心安全な 学校生活</p>	<p>(1)新型コロナウイルス感染症対策に取り組むとともに、心身ともに健康な学校生活を送ることができるよう環境を整える。</p> <p>(2) 基本的な生活習慣の確立および社会人としてのマナーを身につける。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だよりの発行毎月 1 回以上</li> <li>・教育相談だよりの発行年間2回以上</li> <li>・生徒会によるあいさつ運動の実施年間 10 回以上</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校生徒の年間遅刻件数 250 件未満</li> <li>・生徒意識調査で「あいさつや場に応じた言葉遣いができている」と答えた生徒の割合 9. 0P 以上</li> <li>・生徒意識調査で「校則の意味を理解し、しっかり守っている」と答えた生徒の割合 9. 0P 以上</li> <li>・「明野高校の生徒はよくあいさつができる」と思う保護者の割合 95%以上</li> <li>・「明野高校の生徒は服装がしっかりしている」と思う保護者の割合 98%以上</li> </ul>		◎
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組	<p>1) 教職員の授業研修会の実施 【活動指標】授業研究会および評価研修会を年3回実施</p> <p>(2) 人権研修会および特別支援教育研修会の実施 【活動指標】人権研修会、特別支援教育研修会を年3回実施</p> <p>(3) コンプライアンス研修会の実施 【活動指標】学校信頼向上委員会の開催(学期に1回)、コンプライアンス研修会年間2回実施</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒意識調査における「授業内容に工夫があり、興味関心を引き出す授業が多い」8.0P以上</li> <li>・「明野高校に入学させて良かった」と思う保護者の割合 98%以上</li> <li>・「子どもは、生き生きと学校生活を送っている」と思う保護者の割合 98%以上</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	
情報提供による信頼の構築	<p>(1) 学校ホームページによる情報提供</p> <p>(2) 明野高校公式インスタグラムによる情報提供 【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事ごとのホームページおよび公式インスタグラムの更新</li> </ul> <p>(3) 授業公開、学校見学会等の実施 【活動指標】年間5回以上</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページアクセス数前年度比 120%以上</li> <li>・公式インスタグラムのフォロワー400以上</li> </ul>		◎ ◎  ※
地域の企業および他校種等との連携	<p>(1) 地域の事業所および他校種、住民との連携による地域の活性化と明るい話題の提供 【活動指標】事業所、他校種、住民等との交流のべ50件以上</p> <p>【成果指標】新聞等報道される件数年間のべ50件以上</p>		※ ※
働きやすい職場環境づくり	<p>(1) 総勤務時間の縮減に向け、年次有給休暇等を取得しやすい環境をつくる。</p> <p>(2) 学校全体の環境問題に取り組む。 【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設定した日の定時に退校できた教職員の割合 80%以上</li> <li>・予定通り休養日を実施できた部活動の割合 95%以上</li> <li>・放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合 90%以上</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体のゴミ減量に向けた意識の醸成</li> <li>【成果指標】</li> <li>・時間外在校等時間が年 360 時間を超える教職員数 0 人</li> <li>・時間外在校等時間が月 45 時間を超える教職員の延べ人数 0 人</li> <li>・1 人当たりの月平均時間外在校等時間 30 時間以下</li> <li>・1 人当たりの年間休暇取得日数 10 日以上</li> <li>・廃棄される一般可燃物の量年間 15,000 kg 以下</li> </ul>		
改善課題			
(年度末に記載)			

## 5 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次へ の取組方向	(年度末に記載)
-----------------------------	----------

## 6 次年度に向けた改善策

教育活動につ いての改善策	(年度末に記載)
学校運営につ いての改善策	(年度末に記載)